

保護動物の現状知って

第一学院高校
奈良キャンパス
生徒らパネル展



保護動物と向き合い感じたことを生徒が思い思いに表現したパネル＝15日、奈良市西大寺東町2の第一学院高校奈良キャンパス

奈良市西大寺東町2丁目の第一学院高校奈良キャンパスで15日、事故や虐待に遭ったり、餓えなくなるなど保護を必要とする「保護動物」のパネル展が行われ、学外からも多くの来場者があった。

生徒自らが目標を持ち、戦略を立てて情報を集め、知を創造していくプロジェクト学習の一環。「プロジェクトN」として保護動物問題について学習に取り組んできた成果を発表した。生徒らは保護団体にボラン

ティアとして参加するなかで、保護動物の現状や命の重さを知り、自分たちの言葉で伝えることを目標に学んできた。

この日は、生徒や動物保護団体のパネル展示のほか、外出を制限されるコロナ下で、会社勤めの女性が軽い気持ちで買った犬が次第に世話をしてもらえなくなるというストーリーの人形劇なども行われた。

パネル展には同校生徒約20人が参加。いずれも2年生の大西由葵さんはパネル展示と発表、岡村祐花さんは人形劇の台本とキャラクター作り、中里好海さんはステージづくりなどをそれぞれ取りまとめた。大西さんらは「パネル展を通じて全学年が仲良くなり団結できた。またやりたい」と笑顔を見せていた。